

告 辞

本日ここに、ご来賓、保護者、本校名誉教授他、多くの皆様方のご臨席を賜り、平成二六年度函館工業高等専門学校卒業証書授与式及び専攻科修了証書授与式を挙行できますことは、私ども教職員及び本校関係者一同にとりまして大きな喜びとするところであります。外国人留学生二名を含む一八五名の本科卒業生、及び三〇名の専攻科修了生の皆さんに、心よりお祝いを申し上げます。これまで皆さんを支えてくださったご家族の喜びもひとしおのことと推察いたします。

皆さんは今、本科での五年の課程を修了し、さらには専攻科での二年の課程を修了し、長きにわたり共に研鑽に励んできた学友と別れ、新たな道へ歩み出そうとしていきます。卒業証書及び修了証書授与に引き続き、

学会賞他の学術に関する表彰が行われましたが、皆さんは卒業研究の成果、或いは特別研究の成果を専門の学協会等で発表し、学術的に高い評価を受けてきました。函館高専を卒業される皆さんは、研究を通じて学業の総まとめを行うことで、知識の応用から課題解決に至るまでの能力を評価され保証されてきたのです。

函館高専は平成二四年に創設五〇周年を迎え、これを機に、海外校との国際交流協定の締結、そして国際交流支援制度の整備を進めました。シンガポール、マレーシア、フランスとの国際交流事業やニュージーランドでの語学研修などに参加できる枠組みが構築され、多くの皆さんが国際プログラムに積極的に取り組まれてきました。毎年秋には、シンガポールのリパブリックポリテクニクの学生が来校し、共同でPBLに取り組む、春には相手校を訪問するなど、皆さんは多くの海外の友人との交流をされたに違いありません。また、専攻科においては、海外インターシップの他、米国からの招聘教員が指導に加わった授業では、全員が特別研究の内容を英語で発表し質疑応答を行なうなど、

英語による発信力に磨きをかけ、後輩の範となりました。実験・実習科目など、さらに、スポーツや文化系のコンテスト、ボランティア活動を通じて、仲間とチームを組んで課題に取り組むなどの貴重な経験を積んでこられました。

皆さんが勉学に励んだ五年間に、科学技術は大きく進展してきました。ロボット技術や情報通信技術はより社会の現場に実装されるようになり、要素を組み合わせたシステム構築だけではなく、機器類が情報を交換する技術も急速に普及してきました。これからの高度技術社会、国際社会に生きる皆さんには、専門科学技術分野の深化と、関連する様々な分野を俯瞰する能力、さらには情報を収集・分析・統合する能力が要求されてきます。常に学び続け、新しいことに積極的にチャレンジする姿勢を忘れないでください。皆さんを育んだ函館高専の卒業生であることに誇りを持ち、仲間との絆を大切にしつつ、社会にあるいは新たな勉学の場に歩み始めてください。

皆さんの更なる発展と活躍をお祈りしつつ、門出に
向けた言葉を締めくくらせていただきます。

平成二十七年三月二一日

函館工業高等専門学校長

岩熊 敏夫